

第199回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計40点〕

問1

自己資本コスト [⑥ 10.5] %

問2

年間フリーキャッシュフロー [⑥ 12,900] 千円

問3

① [⑤ 104,226] 千円 ② [⑤ 184,286] 千円

問4

年間キャッシュフローの増減額 [③ 26,200] 千円（増減額の場合には△を付すこと）

問5

買収額は [④ 176,130] 千円以下にするべきである。

計算過程

$$26,200 \div 2 \div 8\% = 163,750 \text{ ②}$$

$$26,200 \times 0.926 + 26,200 \times 0.857 + 26,200 \times 0.794 + 26,200 \times 0.735 + (26,200 + 163,750) \times 0.681 \\ \div 216,130 \text{ ②}$$

$$216,130 - 40,000 = 176,130 \text{ ②}$$

$$\therefore 176,130$$

問題2〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計50点〕

問1

ア（ ㊸ 貢献利益 ） 別解：限界利益

問2

全社の損益分岐点売上高 〔 ㊸ 1,030,304 〕 千円

A事業部〔 ㊸ 206,061 〕 千円 B事業部〔 ㊸ 309,091 〕 千円 C事業部〔 ㊸ 515,152 〕 千円

問3

〔 ㊸ 216,667 〕 千円

問4

〔 ㊸ 420,000 〕 千円

計算過程

B事業部とC事業部の売上高は1：1であるため、両者の売上高をXと置く。

A事業部： $185,000 \times 0.6 - 130,000 = -19,000$ ㊸

B事業部： $0.5X - 120,000$

C事業部： $0.45X - 180,000$

$-19,000 + 0.5X - 120,000 + 0.45X - 180,000 = 80,000$ ㊸ $X = 420,000$

∴ 420,000

問題3〔予想配点：10点〕

機	会	原	価	と	は	,	あ	る	特	定	の	代	替	案	を	選	択	す	る
こ	と	に	よ	り	あ	き	ら	め	ら	れ	た	諸	代	替	案	か	ら	得	ら
れ	た	で	あ	ろ	う	利	益	の	う	ち	最	大	の	も	の	を	い	う	。